

# 胆江勢3人が全国へ



## 男子 つなくバレーで

選抜チームは今夏に、なごみテニスを高の行われた選手会で男女各1人を選出。毎週末、男子チームは高の合同練習、遠征試合、あるセンター沼田健太郎(ボクシング)だが、県選

## JOC全国中学バレー

今年25日 大阪市で開幕

JOCジュニアオリンピックカップ第28回全国都道府県対抗中学校バレーホール大会は15日25日、大阪市中央体育館などを会場に開幕する。県選抜チームは胆江地区から男子は熊谷知貴(金ヶ崎3年)、仲村将大(同2年)、女子は村上優香(小山中3年)の計3人がメンバー入り。全国上位を目指し猛練習が続いている。

(秋民の年、レフト 百草内通(北陵3年)を攻撃の軸に、守り勝つバレーを目指す。金ヶ崎で主将を務めた熊谷は本来はレフトポジションだが、県選抜では高い守備力を賣われ、レフトで出場予定。「捨れないと全国では通用しない。カットを確実に戻したい」と自分の役割に全力で取り組む。2年生ながら選ばれた仲村はセッターとしての非凡なセンスが魅力の選手。「選抜チームは先輩たちが明るくて楽しいと笑顔の仲村。連携が難しい」ことをチーム課題に「先輩たちに負けたくない」大きな声を出して、レシーブを頑張りたいと気合を入れる。2人の目標は「全国制覇」。予選リーグは京都、島根と同じグループで戦機は十分。岩手のつなくバレーで頂点を目指せる。

男子県選抜チームの熊谷知貴(金ヶ崎3年、左)、仲村将大(金ヶ崎2年)はザンブカットが



## 感謝してプレー

小山中 村上優香

女子チームの攻撃は佐々木奏織(西川3年)が中心。小山中ではセッターの村上優香は選抜ではレフトで出場する予定。経験はないと話しながらもレフトはバックのキープは、後ろからしっかりと声を掛けて前をコントロールした。こちらも自分の役割に全力を注ぐ。

女子県選抜チームの村上優香(小山中3年)の合同チーム、プレーできる環境を求めて転校してまで打ち込んだ部活。そして県大会初優勝。バレーを通じてさまざまなことを学んだ年間だった。「地域、学校、周りの人々に支えられてバレーを続けることができた」と頭を下げる村上。中学最後となるプレーは、全国大会という最高の舞台。「すべてに感謝してプレーしたい」。これまでの思いをボールに込めるつもりだ。